

平成23年度

岡山大学大学院教育学研究科
(修士課程)

第2次学生募集要項

岡山大学大学院教育学研究科

目 次

1 募集人員	1
2 出願資格	2
I 一般入試	2
II 現職教員等入試	2
III 外国人留学生入試	3
3 出願手続	3
(1) 出願期間	3
(2) 提出先	3
(3) 出願に必要な書類等	4
4 入学資格の事前審査	5
5 受験票の交付	5
6 障がい等のある方の出願について	5
7 教員研修留学生の出願について	5
8 入試日程等	6
9 入学者選抜の方法	6
(1) 一般入試	6
(2) 現職教員等入試	8
(3) 外国人留学生入試	8
10 配点	9
11 合格者発表	9
12 入学手続	9
13 現職教員等に対する教育方法の特例及び長期履修制度について	9
14 教育臨床心理学専攻における「臨床心理士」受験資格について	10
15 その他	10
岡山大学大学院教育学研究科へのアクセス	12
教育学研究科（修士課程）の概要【アドミッションポリシーを含む】	13
（参考）平成22年度教育学研究科入試状況	16

問い合わせ先/出願書類・入学資格審査申請書類の請求先

岡山大学教育学系教務学生係(大学院担当)

住所： 〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

電話： (086) 251-7604

※窓口の受付時間は、平日の9時～17時15分（土、日、祝日を除く）です。
平成22年12月29日（水）から平成23年1月3日（月）は、年末年始の休業となります。

※出願書類・入学資格審査申請書類の請求については、この学生募集要項の10・11頁をご覧ください。

岡山大学教育学部・大学院教育学研究科のホームページアドレス
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/ed/Edu.html>

教育学研究科2010パンフレット（大学院案内）
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/ed/ged/2010pan.pdf>

平成23年度 岡山大学大学院教育学研究科 修士課程 第2次学生募集要項

1 募集人員

専攻名	一般入試	現職教員等入試	外国人留学生入試
発達支援学専攻 幼児教育コース 特別支援教育コース 養護教育コース	若干人		
教科教育学専攻 国語教育コース 社会科教育コース 数学教育コース 理科教育コース 音楽教育コース 美術教育コース 保健体育コース 技術教育コース 家政教育コース 英語教育コース	若干人		
教育臨床心理学専攻	若干人		

※学校教育学専攻については、今回は募集を行いません。

2 出願資格

I 一般入試

一般入試に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者です。

- (1) 大学を卒業した者又は平成23年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者又は平成23年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は平成23年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成23年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成23年3月までに修了見込みの者(平成17年文部科学省告示第9号参照)
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成23年3月までに修了見込みの者(平成17年文部科学省告示第169号参照)
- (7) 文部科学大臣の指定した者又は平成23年3月までに該当する見込みの者(昭和28年文部省告示第5号参照)
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により他の研究科に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本研究科が認めたもの
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成23年3月までに22歳に達しているもの

(注) 上記(9)による志願者は、出願に先立ち入学資格の事前審査を行いますので、

「4 入学資格の事前審査」により申請してください。

II 現職教員等入試

※10頁の【長期履修制度】についての項も参照してください。

現職教員等入試に出願できる者は、次の(1)、(2)及び(3)の全てに該当する者です。

- (1) 「I 一般入試」(1)～(9)のいずれかに該当する者
- (2) 出願時に次のア～キのいずれかに該当する正規採用もしくは非正規採用(常勤又は非常勤雇用)の者(出願時より過去1年以内の期間に該当していた方を含みます。)
 - ア 学校教育法第1条に規定する学校の教員
 - イ 教育公務員特例法第2条に規定する教育公務員
 - ウ 学校教育法第124条に規定する専修学校の教員
 - エ 学校教育に類する教育を行うもののうち、他の法律で特別に規定がある機関で教育又は研究の職に従事している者
 - オ 教育相談機関・医療機関等において、教育相談又はカウンセリングの職に従事している者
 - カ 社会教育施設・児童福祉施設・矯正教育施設等の機関で教育又は研究の職に

従事している者

キ 外国の学校の教員で、国費留学生若しくは外国の政府による派遣留学生又は独立行政法人国際協力機構の招聘による者

(3) 出願時に通算3年以上の教職経験を有している者（出願時より過去1年以内の期間に該当していた方を含みます。）

〔注意〕

経験年数 ・ 出願時現在で算出します。

・ 経験月数が1か月未満の場合は、1か月に切り上げて算出します。

・ 休職期間は、経験年数に算入しません。

Ⅲ 外国人留学生入試

外国人留学生入試に出願できる者は、次の(1)、(2)及び(3)の全てに該当する者です。

(1) 「Ⅰ 一般入試」(1)～(9)のいずれかに該当する者

(2) 日本国籍及び日本における永住資格を有しない者

(3) 次のいずれかに該当する者

ア 独立行政法人日本学生支援機構が2010年4月1日以降に実施した日本留学試験の日本語科目の成績が244点以上の者又は2009年2月6日から2010年3月31日までに実施した日本留学試験の日本語科目の成績が220点以上の者

イ 独立行政法人国際交流基金が2010年4月1日以降に実施した日本語能力試験N1の成績が113点以上の者又は2009年2月6日から2010年3月31日までに実施した日本語能力試験1級の成績が250点以上の者

ただし、教科教育学専攻(理科教育コース・英語教育コース)では、ア又はイに該当しなくても、国際教育交換協議会が2009年2月6日以降に実施したTOEFL iBTの成績が61点以上の者に外国人留学生入試への出願を認めます。

3 出願手続

入学志望の方は、出願受付期間内に(3)出願に必要な書類等を揃え、教育学系教務学生係(大学院担当)へ持参又は郵送してください。

(1) 出願期間

平成23年1月6日(木)から平成23年1月12日(水)

出願書類を持参する場合の受付時間は、9時から17時15分まで(土、日、祝日を除く)とします。郵送する場合は、所定の封筒を用い、簡易書留、速達で送付してください。出願書類は、平成23年1月12日(水)17時15分までに必着としますが、これ以降に到着したものについては、平成23年1月11日(火)までの消印のものに限り受理します。

(2) 提出先 〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1
岡山大学教育学系教務学生係(大学院担当)
(086) 251-7604

(3) 出願に必要な書類等
ア 全員が提出するもの

① 入学願書	本研究科所定の用紙を用いてください。 縦4cm×横3cm無帽正面で出願前3か月以内に撮影した写真を、入学願書及び写真票に貼ってください。
② 受験票・写真票	
③ 入学検定料 払込証明書 貼付票	入学検定料は、30,000円で、振込手数料が別に必要です。 添付の「入学検定料振込用紙」により、金融機関（ゆうちょ銀行又は郵便局を含みます。）の窓口から振込（ATMは使用しないでください。）によって納入し、必ず、「入学検定料振込証明書」を入学検定料振込証明書貼付票の所定欄に貼ってください。 <入学検定料の返還について> 次の場合を除き、いかなる理由があっても、振込済みの入学検定料は返還しません。 1) 入学検定料を振り込んだが、岡山大学大学院教育学研究科に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合 2) 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合
④ 研究概要調書	本研究科所定の用紙を用いてください。
⑤ 成績証明書	出身大学長（学部長）が作成し、厳封したものを提出してください。
⑥ 卒業（見込） 証明書	出身大学長（学部長）が作成したものを提出してください。
⑦ 返信用封筒 （受験票送付用）	長形3号の封筒（本研究科所定）に380円分（基本料金+簡易書留料金）の切手を貼付し、志願者本人の住所、氏名及び郵便番号を明記してください。
⑧ 宛名シール	所定の用紙を用いてください。

イ 必要に応じて提出するもの

⑨ 受験承諾書	<u>在職中の方のみ</u> 、所属長の受験承諾書を提出してください。
⑩ 在職証明書	<u>現職教員等入試に出願する方のみ</u> 、本研究科所定の用紙を用いて提出してください。
⑪ 職務内容調書	
⑫ 研究業績書	
⑬ 改姓（名）の 申立書	<u>成績・卒業証明書記載の姓・名に変更がある場合のみ</u> 、改姓（名）の日付と新旧姓（名）を、志願者本人が記入した文書（様式は任意です。）で提出してください。
⑭ 登録原票記載 事項証明書	<u>日本に在住する外国人のみ</u> 、市区町村長の発行したものを提出してください。
⑮ 学位授与（申請受理） 証明書	<u>「2 出願資格Ⅰ」の(2)で出願する方のみ</u> 、大学評価・学位授与機構が発行したものを提出してください。
⑯ 教員免許状取得 見込証明書等	<u>「2 出願資格Ⅰ」の(7)で出願する方のみ</u> 、提出してください。
⑰ 入学資格審査 結果通知書 のコピー	<u>「2 出願資格Ⅰ」の(9)で出願する方のみ</u> 、提出してください。

<p>⑱ 日本留学試験等の成績通知書等</p>	<p>1 「Ⅲ 外国人留学生入試」(3) ア又はイの資格で出願する方は、次の(1)又は(2)を提出してください。</p> <p>(1) 独立行政法人日本学生支援機構が2010年4月1日以降に実施した日本留学試験の日本語科目の成績通知書(244点以上のもの)又は2009年2月6日から2010年3月31日までに実施した日本留学試験の日本語科目の成績通知書(220点以上のもの) ただし、「成績に関する証明書」の発行を受けている場合は、事前に教育学系教務学生係(目次頁参照)まで相談してください。</p> <p>(2) 独立行政法人国際交流基金が2010年4月1日以降に実施した日本語能力試験N1の成績通知書(113点以上のもの)又は2009年2月6日から2010年3月31日までに実施した日本語能力試験1級の成績通知書(250点以上のもの)</p> <p>2 「Ⅲ 外国人留学生入試」(3)のただし書きの資格で出願する方は、次の書類を提出してください。 国際教育交換協議会が2009年2月6日以降に実施したTOEFL iBTのExaminee Score Report(61点以上のもの)</p>
<p>⑲外国の大学を卒業した方用履歴書</p>	<p>「2 出願資格I」の(3)・(4)・(5)に該当する方のみ、提出してください。</p>

注1 出願書類のうち⑤、⑥については、複数の大学・学部・専攻科等を卒業(見込)の方は、その全てにわたり提出してください。

2 出願書類のうち外国語による証明書には、日本語の訳文を付けてください。

3 出願書類に不備がある場合は、受理しません。

4 出願書類は、受理後はいかなる理由があっても返却しません。ただし、⑱の成績通知書等の原本については、本研究科で確認後、速やかに返却します。

4 入学資格の事前審査

「2 出願資格I」の(9)により志願する方は、出願に先立ち入学資格の事前審査を行いますので、申請に必要な書類を教育学系教務学生係(大学院担当)[目次頁参照]へ請求し、期限までに提出してください。

入学資格審査申請書類提出期限 平成22年12月20日(月)(必着)

(持参する場合の受付時間は、9時から17時15分まで[土、日、祝日を除く]とします。)

5 受験票の交付

受験票は平成23年1月17日(月)頃に本人あてに発送します。

1月25日(火)までに到着しない場合は、教育学系教務学生係(大学院担当)[目次頁参照]にお問い合わせください。

6 障がい等のある方の出願について

障がい等のある方は、受験上及び修学上特別の配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち平成22年12月20日(月)までに教育学系教務学生係(大学院担当)[目次頁参照]に相談をしてください。

7 教員研修留学生の出願について

日本政府文部科学省が募集した教員研修留学生として奨学金を受給している方が出願を希望する場合は、出願に先立ち事前に教育学系教務学生係(大学院担当)[目次頁参照]に相談をしてください。

8 入試日程等

- (1) 日 時 平成23年2月5日(土) 9時30分から
- (2) 場 所 岡山大学教育学部

9 入学者選抜の方法

(1) 一般入試

筆記試験(専門試験)及び口述試験(書類審査を含みます。)の結果を総合して行います。

ア 試験の日程

専 攻	筆記試験(専門試験)	口述試験 (書類審査を含みます。)
全専攻・コース	9時30分～11時30分	12時30分～17時00分 終了予定

注) 口述試験には、実技試験・作品提出を含む専攻・コースがありますので、次頁「イ 試験の内容」で確認してください。

イ 試験の内容

筆記試験（専門試験）及び口述試験（書類審査を含みます。）

専攻	コース	筆記試験（専門試験）	口述試験 (書類審査を含みます)
発達支援学	幼児教育	○幼児教育に関する基本的内容 ただし、幼児教育に関する英語の問題を含みます。 ○保育内容に関する専門的内容	<p>これまでの研究経過及び今後の研究計画概要に基づいて行います。 ただし、専攻・コースの専門的内容等を含みます。</p> <p>(注1)</p> <p>(注2)</p> <p>(注3)</p>
	特別支援教育	○特別支援教育に関する基本的内容 ○特別支援教育に関する専門的内容 特別支援教育に関する、教育学、心理学、臨床(生理・病理・保健)の3分野から1分野を選択 ただし、特別支援教育に関する英語の問題を含みます。	
	養護教育	○養護教育実践学、学校保健医科学 ただし、上記に関する英語の問題を含みます。	
教科教育学	国語教育	○国語科教育学、および国語学・国文学・漢文学の基礎的内容	
	社会科教育	○社会科教育に関する基礎的内容 ○社会科教育に関する専門的内容 (社会科教育学、日本史、人文地理学、自然地理学、政治学、法学、経済学、社会学、倫理学の中から1分野選択) ただし、社会科教育に関する英語の問題を含みます。	
	数学教育	○代数・幾何・解析の基礎的内容と算数・数学科教育に関する内容 ただし、数学に関する英語の問題を含みます。	
	理科教育	○理科教育に関する専門的内容 (理科教育学、物理学、化学、生物学、地学の中から1分野選択) ただし、理科教育に関する基礎的内容についての英語の問題を含みます。	
	音楽教育	○音楽の基礎的内容と音楽科の教育に関する内容及びそれらを組み合わせたもの ただし、上記に関する英語の問題を含みます。	
	美術教育	○美術の基礎的内容と図画工作・美術科の教育に関する内容及びそれらを組み合わせたもの ただし、上記に関する英語の問題を含みます。	
	保健体育	○保健体育に関する基礎的内容 ○保健体育に関する専門的内容 (保健体育科教育、体育学、運動学、学校保健の中から1分野選択) ただし、保健体育に関する英語の問題を含みます。	
	技術教育	○技術の基礎的内容と技術教育に関する内容 ただし、技術教育に関する英語の問題を含みます。	
	家政教育	○家政の基本的内容と家庭科の教育に関する内容及びそれらを組み合わせたもの ただし、上記に関する英語の問題を含みます。	
教育臨床心理学	英語教育	○英語 (英語科教育、英語学、英米文学の基礎的内容)	
		○心理学、主に臨床心理学、教育心理学に関する内容 ただし、臨床心理学に関する英語の問題を含みます。	

【口述試験（書類審査を含みます。）に関する注意事項】

（注1）教科教育学専攻音楽教育コース

本コースは、音楽科教育、音楽学、器楽、声楽、作曲・指揮の5分野から成り立っています。声楽と器楽を中心にした研究概要調書を提出した受験者には、口述試験で任意の1曲の演奏を課します。伴奏者を同伴できない場合は本コースで用意しますので、出願書類に伴奏楽譜を添えて提出してください。作曲に関する研究概要調書を提出した受験者は、願書に作品を添えて提出してください。提出する作品は、1年以内のものとし、自己の作品であることの証明書（例えば指導教員の証明書）を添付してください。

（注2）教科教育学専攻美術教育コース

試験時に作品審査を行いますので、次により作品を提出してください。絵画、彫刻、デザイン、工芸の代表的作品1～2点（実物）及び作品集（ポートフォリオ）又は美術教育に関する業績（印刷物又はコピー）のいずれでも構いません。提出する作品は、1年以内のものとし、自己が制作したものであることの証明書（例えば指導教員の証明書）を添付してください。提出作品は当日持参が原則ですが、住居が遠方である等の理由により作品を送付する場合は、事前に教育学系教務学生係（大学院担当）〔目次頁参照〕へ連絡してください。

（注3）教科教育学専攻英語教育コース

一部英語で行います。

（2）現職教員等入試

小論文（専門分野に関する内容を含みます。）及び口述試験（書類審査を含みます。）の結果を総合して行います。

<試験の日程及び内容>

専攻	小論文 (専門分野に関する内容を含みます。)	口述試験 (書類審査を含みます。)
全専攻・コース	9時30分～11時30分	12時30分～17時00分 終了予定

（3）外国人留学生入試

日本留学試験等の成績、筆記試験（専門試験）及び口述試験（書類審査を含みます。）の結果を総合して行います。

<試験の日程及び内容>

専攻	筆記試験(専門試験)	口述試験 (書類審査を含みます。)
全専攻・コース	9時30分～11時00分	12時30分～17時00分 終了予定

※筆記試験の出題範囲は一般入試と同じです。ただし、教科教育学専攻(英語教育コース)以外は英語の問題は含みません。

【筆記試験（専門試験）及び小論文に関する注意事項】

一般入試で英語を出題する専攻では、教科教育学専攻英語教育コースを除き英和辞典（1冊）の使用を認めます。（電子辞書やその他の機能を持つものは使用できません。）
現職教員等入試及び外国人留学生入試は、辞書の持ち込みは認めません。

10 配 点

(1) 一般入試

専 攻	筆記試験 (専門試験)	口述試験 (書類審査を含みます。)	計
全専攻・コース	300 点	200 点	500 点

(2) 現職教員等入試

専 攻	小論文 (専門分野に関する内容を含みます。)	口述試験 (書類審査を含みます。)	計
全専攻・コース	200 点	300 点	500 点

(3) 外国人留学生入試

専 攻	日本留学試験等	筆記試験 (専門試験)	口述試験 (書類審査を含みます。)	計
全専攻・コース	100 点	200 点	200 点	500 点

11 合格者発表

下記のとおり合格者の受験番号を発表し、同日付けで合格通知書等を本人あてに発送します。

なお、電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

日 時：平成23年2月14日（月）9時の予定

場 所：教育学部本館玄関前掲示板

本研究科のホームページ (<http://www.okayama-u.ac.jp/user/ed/Edu.html>) においても合格者発表日の正午から約1週間、合格者受験番号を掲載します。

12 入学手続

入学手続時期は、平成23年3月中旬(予定)です。詳細は、合格者に別途郵送します。

<学費>

入学料 282,000円〔予定額〕

授業料（前期分） 267,900円（年額535,800円）〔予定額〕

※入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

13 現職教員等に対する教育方法の特例及び長期履修制度について

【教育方法の特例】

本研究科では、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の趣旨に基づき、

次のような修学の便宜を図ります。

修業年限2年のうち前半の1年間は、在職校等の勤務を離れて大学院の授業の履修に専念します。後半の1年間については、修士課程では在職校等に復帰し、修士論文作成のための研究指導を受けることができます。現職教員等でこの特例の適用を希望する方は、あらかじめ、その旨を入学願書に明記して受験するものとし、口述試験等において、修学の条件等について確認を受けてください。

【長期履修制度】

(1) 長期履修制度は、「学生が、職業を有しているなどの事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる」という制度です。また、本制度の適用を申請しそれが認められた場合、納入する授業料総額は2年間分をよく、2年間分の授業料を、計画した履修年数（最長4年間）で除した額を毎年納入します。

本研究科では、現職教員等（「2出願資格 II 現職教員等入試」(2)のア～カのいずれかに該当する方で、**正規採用の方。**）を対象に本制度を取り入れていません。

(2) 本制度の適用を希望する方は、あらかじめ入学願書に明記して受験するものとし、口述試験等において修学の条件等について確認を受けてください。さらに、入学手続き時に別途長期履修制度の申請手続きをしてください。その後、本研究科において審査を行います。

14 教育臨床心理学専攻における「臨床心理士」受験資格について

教育臨床心理学専攻は、(財)日本臨床心理士資格認定協会の指定大学院(第1種指定校)です。修了後には臨床心理士の受験資格を得ることができます。

15 その他

(1) 出願書類及び入学資格審査申請書類の請求について

ア 出願書類の請求について

出願書類を郵便で請求する場合は、請求する封筒に「岡山大学大学院教育学研究科修士課程学生募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒〔角形2号の封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し240円分の切手を貼ったもの。〕を同封の上、岡山大学教育学系教務学生係(大学院担当)〔目次頁参照〕へ送付してください。修士課程と教職大学院両方の出願書類を請求する場合は、390円分の切手の貼付が必要です。

イ 入学資格審査申請書類の請求について

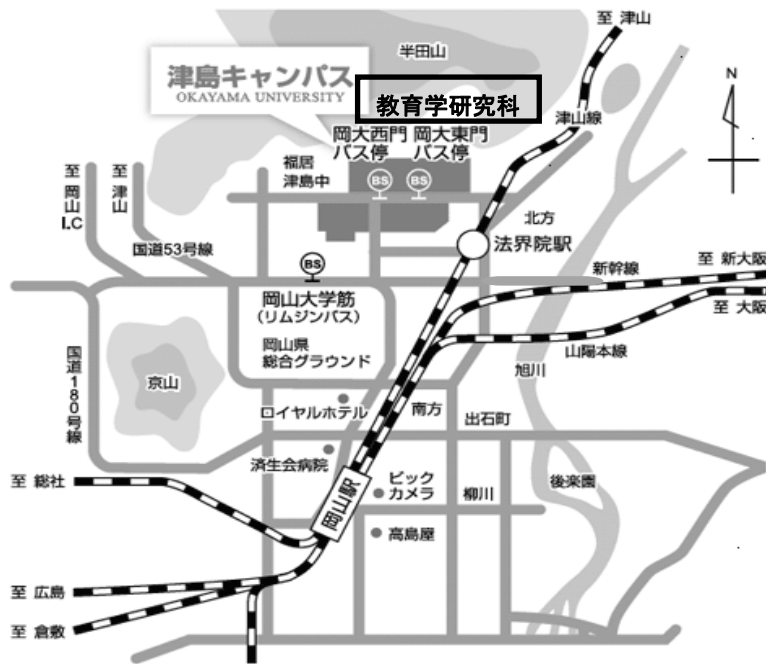
入学資格審査申請書類を郵便で請求する場合は、請求する封筒に「岡山大学大学院教育学研究科入学資格審査申請書類請求」と朱書きし、返信用封筒〔角形2号の封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、140円分の切手を貼ったもの〕を同封の上、岡山大学教育学系教務学生係(大学院担当)〔目次頁参照〕へ送付してください。

※ 出願書類及び入学資格審査申請書類は、教育学系教務学生係(大学院担当)窓口でも配布します。

なお、郵便での請求については、請求内容の確認をさせていただく場合がありますので、氏名および連絡先（電話番号等）を記入したメモを同封してください。

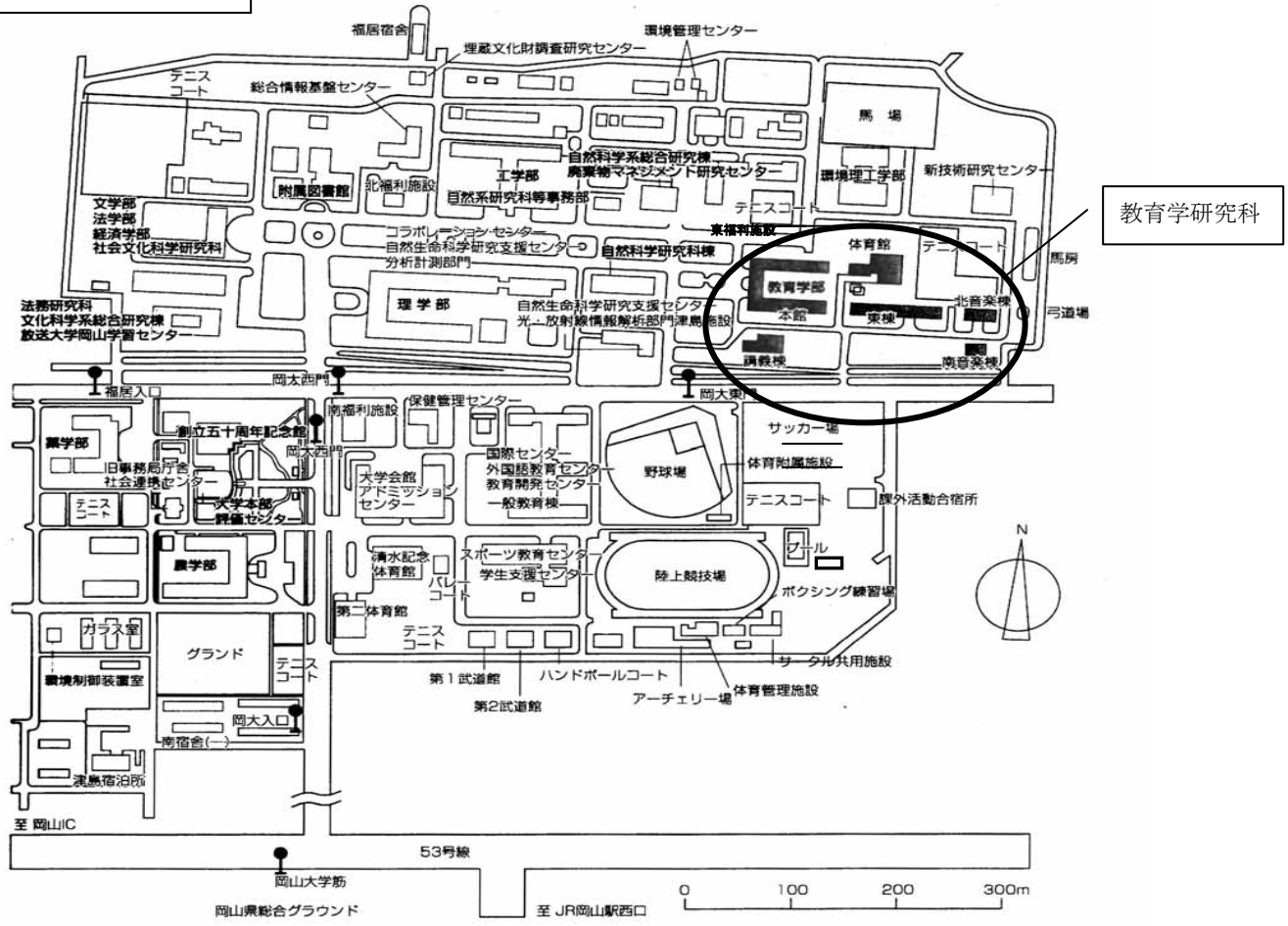
- (2) 試験室等は、平成23年2月5日(土)に教育学部講義棟北側入口に掲示します。
- (3) 過去の入学試験問題は、教育学系教務学生係(大学院担当)窓口で閲覧できます。閲覧できる時間帯は、平日の9時から17時15分(正午～13時を除く)です。閲覧時には、学生証・運転免許証等の身分証明書が必要です。
- (4) 出願書類等の記載内容に虚偽があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがあります。
- (5) 個人情報の利用目的
出願書類等及びこれらに記載・貼付されている個人情報並びに入学試験成績の個人情報は、入学者選抜に関する業務に使用します。
なお、これらの個人情報は、入学者選抜及び大学院教育の改善のための調査・研究の資料としても利用します。ただし、調査・研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。また、次の個人情報は、入学者選抜以外の業務、システム等でも利用します。
- ・ 入学者のみ、氏名、生年月日、性別、出願資格、入学研究科・専攻等の個人情報を、本学の学務システムで利用します。
なお、入学者の内、入学料徴収猶予申請者、授業料免除申請者については、入学試験成績の個人情報をそれぞれの学力判定処理に利用することがあります。
 - ・ 合格者のみ、氏名、生年月日、性別の個人情報を、本学の授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムで利用します。
- (6) その他不明な点は、教育学系教務学生係(大学院担当) [目次頁参照] に問い合わせてください。

【岡山大学大学院教育学研究科へのアクセス】



- バス（岡山駅より）
 - ・岡山駅東口から岡電バス〈岡大・妙善寺〉行に乗車，「岡大東門」下車，徒歩2分
 - ・岡山駅東口から岡電バス〈津高営業所〉行に乗車，「岡大大学筋」下車，徒歩10分
 - ・岡山駅西口から岡電バス〈岡山大学・岡山理科大学〉行に乗車，「岡大西門」下車，徒歩5分
- JR（岡山駅より）
 - ・岡山駅乗り換え，津山線「法界院駅」下車，徒歩10分
- リムジンバス（岡山空港より）
 - ・「岡山駅行」リムジンバスに乘車，「岡山大学筋」下車，徒歩15分

津島キャンパス配置図



教育学研究科（修士課程）の概要

【教育目的・目標、アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）】

専攻	教育目的・目標	コース	アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）
発達支援学	幼児・児童・生徒の発達課題や健康課題と支援法に関する教育研究を行い、理論と実践的視野を兼ね備えた教員及び研究者を養成します。	幼児教育	乳幼児の教育・発達に関心を持ち、これからの幼児教育の在り方を理論的・実践的に追究する意欲のある人を受け入れます。
		特別支援教育	特別支援教育の在り方を理論的・実践的に追究する問題意識を持ち、同分野における研究・教育を目指す人を受け入れます。
		養護教育	学校保健や養護実践に関する教育・研究に意欲を持ち、将来教育の場における指導の人材として活躍が期待される人を受け入れます。
教科教育学	教科目的・内容と教材化、指導方法、評価の側面から各教科教育のあり方を総合的かつ実践的に教育研究し、教科教育に強い教員ならびに教育を通して成果を社会に還元できる研究者を養成します。	国語教育	国語科教育学と国語関連諸科学の基礎知識と技能を習得しており、学校をはじめ様々な場で、学問研究の成果を還元することに意欲と関心を持っている人を受け入れます。
		社会科教育	社会科教育学と社会諸科学の基礎知識と技能を習得しており、学校をはじめ様々な場で、学問研究の成果を還元することに意欲と関心を持っている人を受け入れます。
		数学教育	数学教育と数学に関する基礎知識を有し、学問研究の成果を学校や様々な場で還元することに意欲と関心を持つ人を受け入れます。
		理科教育	理科諸科学や理科教育の基礎を習得しており、学校をはじめ様々な場で、学問研究の成果を社会に還元することに意欲と関心を持っている人を受け入れます。
		音楽教育	音楽教育学と音楽芸術の基礎知識と技能を習得しており、学校をはじめ様々な場で、学問研究の成果を還元することに意欲と関心を持っている人を受け入れます。
		美術教育	美術の教育と研究に強い関心があり、教員及び教育研究者として、より高度な専門的能力や実践的指導力を高めたいと考えている熱意ある人を幅広く受け入れます。
		保健体育	保健体育科教育学と保健体育・スポーツ科学の基礎知識と技能を習得しており、学校をはじめ様々な場で、学問研究の成果を還元することに意欲と関心を持っている人を受け入れます。
		技術教育	「ものづくり」と「情報」に関する基礎知識と技能を習得しており、学校をはじめ様々な場で、学問研究の成果を還元することに意欲と関心を持っている人を受け入れます。
		家政教育	家庭科教育と家政学に強い関心があり、教員としての専門的な能力や指導力を高めたいと考える人を幅広く受け入れます。
英語教育	より高度な専門性の習得を目指した教育に耐える十分な英語力及び英語と英語教育に関する基本的知識を有し、かつ英語教員あるいは研究者となる熱意のある人を受け入れます。		
教育臨床心理学	教育臨床心理学の視座から、人間の心と行動の問題等に実践的にアプローチできる、教育臨床領域に特に強い臨床心理士ならびに教員を養成します。	/	教育・心理臨床に関わる実践的な諸課題に関心を持ち、その諸課題の実証的・臨床的な研究や、心理臨床的アプローチによる援助実践に関心のある人を受け入れます。

1 教育上の理念、目的

岡山大学大学院教育学研究科（修士課程）は、学校教育に関する理論と実践を教授研究し、専攻ごとの教育研究分野における深い学問的知識と高度の研究能力を育成し、教科や教育理念に高い専門性を持つ高度専門職業人である教員の養成と、研究における高度の専門性と実践的視野を兼ね備えた研究者の養成を目的とします。

2 カリキュラム

教育学研究科（修士課程）における教育課程は、共通基礎科目、専門基礎科目（コースワーク）、専門科目、課題研究の科目群で体系化し、専攻ごとの教育研究分野における深い学問的知識と高度の研究能力を育成します。また、専攻ごとにそれぞれの目標に応じた専門基礎科目でコースワークの導入を行い科目の体系化を図ることとしています。更に学校教育現場における「実践研究」を必修化しており、高度専門職業人である教員の養成並びに実践的視野を持った研究者の養成を行います。

- ・標準修業年限は2年とし、最長在学年限は4年とします。
- ・開講形態は昼夜開講とし、履修の形態は入学者の勤務形態等に応じて14条適用、研修休業制度、長期履修制度等、柔軟な対応をとります。
- ・取得できる学位は修士(教育学)です。

カリキュラムの特色

教育学研究科（修士課程）のカリキュラムは、教科や教育理念に高い専門性を持つ高度専門職業人である教員や、研究における高度の専門性と実践的視野を兼ね備えた研究者を養成するため、次の4つの科目群で体系化しています。

(1) 共通基礎科目

教育学研究科の使命・目的に即した高度専門職業人としての教員・研究者として、公正な視点や広い視野を習得するための助けとなる学際的教養と職業倫理を身に付けます。

(2) 専門基礎科目：コースワーク

専攻ごとの教育研究分野における基礎的素養を身に付け、学校現場での教育実践研究を行い、教育理論の発展・再構築を図ろうとする学究的態度を身に付けます。

(3) 専門科目

学校教育に関わる高度な研究の専門性を活かして教育研究活動を展開する能力を身に付けます。

(4) 課題研究

学校教育において教科や専門領域の研究を遂行できる課題発見・探求の能力を身に付けます。

3 課程修了要件とその内訳

専攻 \ 科目区分	共通基礎科目	専門基礎科目	専門科目	課題研究	計
学校教育学専攻	2	8	18	4	32
発達支援学専攻	2	10	16	4	32
教科教育学専攻	2	10	16	4	32
教育臨床心理学専攻	2	10	16	4	32

※ただし、大学院設置基準第14条を適用する現職教員については、下表のとおり共通基礎科目、専門基礎科目及び専門科目の科目区分にかかわらず28単位を履修することとします。

専攻 \ 科目区分	共通基礎科目	専門基礎科目	専門科目	課題研究	計
学校教育学・発達支援学・教科教育学・教育臨床心理学専攻 【大学院設置基準第14条を適用する現職教員】	28			4	32

4 取得可能な教育職員免許状の種類

専攻	免許状の種類	免許教科等
学校教育学専攻	幼稚園教諭専修免許状	
	小学校教諭専修免許状	
	中学校教諭専修免許状	国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，保健，技術，家庭，英語
	高等学校教諭専修免許状	国語，書道，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，工芸，保健体育，保健，家庭，英語
	養護教諭専修免許状	
発達支援学専攻	幼稚園教諭専修免許状	
	中学校教諭専修免許状	保健
	高等学校教諭専修免許状	保健
	特別支援学校教諭専修免許状	知的障害者，肢体不自由者，病弱者
	養護教諭専修免許状	

教科教育学専攻	幼稚園教諭専修免許状	
	小学校教諭専修免許状	
	中学校教諭専修免許状	国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術，家庭，英語
	高等学校教諭専修免許状	国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，工芸，保健体育，家庭，英語
教育臨床心理学専攻	幼稚園教諭専修免許状	
	小学校教諭専修免許状	
	中学校教諭専修免許状	国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，保健，技術，家庭，英語
	高等学校教諭専修免許状	国語，書道，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，工芸，保健体育，保健，家庭，英語
	養護教諭専修免許状	

※ 本研究科(修士課程)で所定の単位を修得することにより，表「4 取得可能な教育職員免許状の種類」のとおり専修免許状の取得が可能です。ただし，次の基礎資格を有していることが必要です。

- ① 修士の学位
- ② 取得しようとする免許状(中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状については，その免許教科)の1種免許状の取得若しくは資格を有していること

【参考】 平成22年度 教育学研究科入試状況

研究科	課程	専攻	募集人員	志願者数	合格者数
教育学研究科	修士課程	学校教育学専攻	6	9	5
		発達支援学専攻	9	14	12
		教科教育学専攻	47	72	55
		教育臨床心理学専攻	8	31	8
	専門職学位課程	教職実践専攻(教職大学院)	20	29	23
計			90	155	103